

## 会派の意見

12月定例会を振り返って

### 市民クラブ

コロナ対策に明け暮れた一年  
そのしわ寄せはどこに？

令和2年初頭から感染拡大が始まり、12月には本市でもかなり拡大をした新型コロナウイルス。12月議会では、そのコロナ禍によりさまざまな行事や事業が中止になったことから、使われなかった予算を事業者や市民の皆さん方へ支援するための予算に組み替えるなど、全体としては増額となる補正予算を議決しました。また、公共交通を守るためとして、本市独自で「とさでん交通」の路面電車事業の支援を決めるなど、執行部の苦勞も垣間見えました。

いずれにしても、一般家庭の貯金である財政調整基金も底が見え始め、来年度は大幅な財源不足も

予想されており、議会は今後の予算編成やその執行に関し、内容の妥当性や執行状況の監視がますます重要になってきました。

### 保守・中道クラブ

予算編成、集落維持、よさこい祭り、桂浜整備の観光振興等に言及

本議会の個人質問には、和田、平田議員が登壇。和田議員は中山間、沿岸地域の人口減少と高齢化に目を向けるよう問題提起をし、集落維持の対策を講じるよう要望しました。平田議員はアフターコロナの経済対策として本年68回を迎えるよさこい祭りの開催についてや、1年前倒しされた桂浜再整備の理由とスケジュール等而言及し、それぞれにつき、市長、執行部より詳細な説明がされました。また、当会派から提出しました「新型コロナウイルス対応に従事する医療関係者等への支援拡充を求める意見書議案」については全会一致で可決されております。

### 日本共産党

感染防止対策を最優先に！

個人質問では、3億5千万円の公費を投じるアートアクアリウム展について、新型コロナウイルス感染症が拡大しているため中止を求めた。

文化財行政等を教育委員会から市長部局へ移管する議案は、議論不十分として、審議を差し戻す動議を提出したが、賛成少数で否決。

道の駅、公文書偽造への市長の「総括」や公文書管理が問われているにもかかわらず、11月に発覚した市職員の決裁偽造事件を個人質問終了まで伏せていたことは看過できない。この点で市長への問責決議を準備したが、議会運営委員会と一致とならず本会議提出に至らなかった。チェック機関としての議会の姿勢も問われている。

### 公明党

コロナ禍における支援策を求めて

公明党は、コロナ禍により疲弊する市民生活や社会経済支援について、現場の声に寄り添った創意工夫ある具体的な支援策を求めました。

中でも、緊急小口資金等の特例貸し付けの償還について、償還が始まる時期に生活破綻が生じない配慮を求めました。また、人との接触を回避できない理美容業界への支援や新入学児童への就学援助制度の実施など、生活に困窮された方々に対し、きめ細やかな配慮を行うとともに、自立を阻害しない速やかな対策を打ち出すことが

必要と迫りました。

### 新こうち未来

「浦戸道の駅」お粗末な総括。これで幕引き？

都市計画マスタープランをさかのぼって作成し、当時の職員に押印させるといった疑惑の「浦戸道の駅」構想。檢察審査会が不起訴不当たしたが、再度、檢察が不起訴としたことを受け、10月26日に市長総括が出された。真実に触れることなく、従前の答弁の繰り返しの記述。お粗末な総括だと指弾。

### 清和クラブ

コロナ感染症対策と経済の回復を

海治甲太郎議員がコロナ感染予防対策を徹底し、第68回よさこい祭りの開催を要請。国・県・市のGOTOキャンペーン事業効果を問い、経済回復には市の下支えが必要とし、新たな活性化策を要望。

### 山嶽会

市政課題を掘り下げて質問・提案

高橋裕忠議員が質問に立ち、「高知市にじいろのまち宣言」や「来年度予算編成方針」について質問・提案をいたしました。

今後も住みやすいまちづくりに向け議会活動を行ってまいります。